

2025

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾表現学科
3 年次（2023 年度生）

【整理番号】

■専門科目■

- 【1】 マネキン学
- 【2】 プレゼンテーション技法
- 【3】 ポートフォリオ演習
- 【4】 衣装デザイン・制作Ⅱ
- 【5】 スタイリング演習Ⅱ
- 【6】 ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅱ
- 【7】 メディア表現Ⅱ(映像・ショープロデュース)
- 【8】 衣装デザイン・制作Ⅲ
- 【9】 スタイリング演習Ⅲ
- 【10】 ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅲ
- 【11】 メディア表現Ⅲ(映像・ショープロデュース)
- 【12】 服飾手芸(ニットを含む)
- 【13】 リテールマーチャンダイジング
- 【14】 ショップディスプレイ
- 【15】 服飾クラフト
- 【16】 インターンシップ
- 【17】 民族衣裳論
- 【18】 染織史
- 【19】 ファッションプレゼンテーション演習
- 【20】 食物学(食品学)
- 【21】 住居学(製図を含む)
- 【22】 保育学(実習及び家庭看護を含む)
- 【23】 食文化論
- 【24】 食物学(調理実習・実験)Ⅰ
- 【25】 食物学(調理実習・実験)Ⅱ

■教養科目■

- 【26】 言語と服飾文化
- 【27】 日本語表現Ⅰ
- 【28】 日本語表現Ⅱ
- 【29】 日本語Ⅰ
- 【30】 日本語Ⅱ

■学芸員■

- 【31】 博物館展示論
- 【32】 博物館教育論
- 【33】 博物館情報・メディア論

履修科目単位内訳表

(2023年度生用)

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

授業科目の区分と履修方法			修 得 単 位 数
専 門 科 目	必 修		59
	選択必修		10
	選 択		21
専門科目合計			90 単位
教 養 科 目	初 年 次	必 修	10
	一 般 体 育 国際関係	選 択	16
	外 国 語	選択必修	8
教養科目合計			34 単位
総 合 計			124 単位

マネキン学

池田 公信

服飾表現学科 3年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションと密接な関係にあるマネキンの存在意義を学び、その価値と効果を知り、人とマネキンとファッションの関係性についての知識を深める。マネキンについての考察は、ファッションのみならずヒトを見つめることである。マネキンとは何か、その歴史や製法を知り、マネキンが成し得たものと価値、そして存在意義を探究する。

ヒトの欲望とイメージ世界を忠実に反映し実体化する不思議なマネキンという存在を通じてファッションや人との関わりについて思索する。

■到達目標（学修成果）

マネキンを通じて刻々と変化する社会とファッション・ヒト・マネキンを考察することで、ファッションに対するより広い知見を得ることができる。また物事を異なる視点で考察することから得る様々な情報や他者の考えは、興味の有無を問わず物事に対する洞察力や感度を高める好機となる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

科目は卒業認定に必要な必須科目である。マネキンと服飾の関係は、人と服飾の関係と密接に関連しており、本科目で学んだ知見は他の科目にも活かされものと期待される。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎授業ごとの小レポートの提出は、内容を理解し要点をまとめ、自分の考えを整理するために実施する。

小レポートは基本的に毎回の授業内に作成し提出すること。

小レポート及び実習での成果物は成績評価に反映する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

毎回の授業開始時にレジュメを配布する。

■参考文献

「マネキンのすべて続編」マネキンディスプレイ商工組合

「七彩70年史」株式会社七彩、「マネキンの歴史」藤井秀雪 著

■オフィスアワー・研究室

授業後約30分

■備考

実習に際し用意するものを事前に説明します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 池田	【オリエンテーション】 マネキン学の概要/授業の流れ/マネキンイメージ認識	小レポート「マネキンに対するイメージ」の提出	30分
2回 池田	【マネキンとは】 マネキンとの関係性：ファッション/アート/人形	小レポート「マネキンのファッション性、アート性とは」の提出	30分
3回 池田	【マネキンとは】 マネキンの美（キレイ・カッコいい・カワイイ）	小レポート「マネキンとヒト、両者に通じる美とは」の提出	30分
4回 池田	【マネキンとは】 マネキンの構成要素：造形/ヒトガタ/身体性	小レポート「マネキンの根源的な要素について」の提出	30分
5回 池田	【マネキンの製法 プラン/原形】 プラン/製法（手作り）/感性と技能：原形-量産-彩色	小レポート「プロダクト製品としてのマネキン製品製造についての考察」の提出	30分
6回 池田	【マネキンの製法 実演（造形・彩色）】 原形、彩色の担当者による解説と実演	小レポート「モノづくりとしてのマネキン原形・彩色についての考察」の提出	30分
7回 池田	【マネキンの歴史 パリ編 19世紀半ば～1940年代】 マネキン誕生/パリ/世紀末/アート/日本への影響	小レポート「パリのマネキンから受ける印象について」の提出	30分
8回 池田	【マネキンの歴史 日本編 黎明期～1960年代】 源流/島津マネキン/モダニズム/洋装化/作家/素材の変化	小レポート「島津マネキンの先進性について」の提出	30分
9回 池田	【マネキンの歴史 日本編 1970～80～90～現代】 既製服/体型変化/超リアル/VMD/デザイナー/空間	小レポート「急激に西洋化する社会が及ぼすマネキンへの影響」の提出	30分
10回 池田	【マネキン実習】 マネキンを知る・マネキンの取扱い方/着装体験	実際にマネキンに触れ、機能と扱い方を知る、コーディネートを構想する	30分
11回 池田	【マネキン実習】 店舗オンライン上の販売目的でコーディネート～撮影	販売を想定してコーディネートを実践し撮影する、画像を出力し投票する	30分
12回 池田	【マネキン実習】 実習に続きコーディネート～撮影～出力～投票	販売を想定してコーディネートを実践し撮影する、画像を出力し投票する	30分
13回 池田	【マネキンのサステナビリティとビジネス】 環境配慮と持続性/販促ツールとしての機能と効果	小レポート「マネキンの各種取り組みとビジネスとしてのマネキンの考察」の提出	30分
14回 池田	【マネキン表現実習】 メイクや装飾を施し、新たなマネキンを表現する	実際のマネキン頭部に既成概念にとらわれない表現を試みる	30分
15回 池田	【マネキンの価値と未来、存在意義】 期末レポート課題の発表と提出期限等の説明	小レポート「初回イメージとの差異、その視点、考えの変化について」の提出	30分

プレゼンテーション技法

大極 勝

服飾表現学科 3年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

実社会において、その考えや主張を理解する基本はコミュニケーションの積み重ねにあります。そのコミュニケーションを円滑にするために必要となるものがプレゼンテーション力です。そこには情報を発信する側の 外見、口調、内容が問われています。コミュニケーショントレーナーとしての実務経験を活かし、各要素の重要性を捉え、アクティブラーニング形式を採用してプレゼンテーションの実践力を養う授業です。

■到達目標（学修成果）

必要な情報を「伝える」から「伝わる」情報となるべく、実社会における様々なシーンを事例に取り入れながら、聴き手に『行動の変容』を促す実践的なプレゼンテーション力を体得します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、服飾表現学科の必修科目であり、卒業要件科目の単位です。実社会に出た時に、新たな力となる考え方と表現力の基盤を作ることができるような、全授業の積極的理解のまとめになります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回講義内で課題設定し、次の講義で発表。授業のまとめとして、期末にはペーパー試験を実施。後日キャンパスマジックによる総評にてフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

各回とも、当日使用した資料、関連情報等を授業終了後にキャンパスマジックにてデータ配信します。

■参考文献

授業時間に指示します。

■オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・マネジメントコース〔3402教室〕または講師控室にて授業前30分程度待機しています。

■備考

全15回ともキャンパスマジックにて授業用レジュメ・課題等を配信します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大極	「プレゼンテーション論」の振り返り 言語、非言語コミュニケーションのあり方確認	プレゼンの基本確認 以降レジュメは キャンパスマジック（以下CM）にて配信	30分
2回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - グループプレゼン 3分間自己紹介作成（表現学科で得たもの3つ）	復習：自己紹介文のブラッシュアップ	30分
3回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - グループプレゼン 3分間自己紹介実習（表現学科で得たもの3つ）	復習：自己紹介文の完成	30分
4回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - クラスプレゼン 3分間自己紹介実習（表現学科で得たもの3つ）	復習：自己紹介文の完成・就活に活かすものへ	30分
5回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - クラス 1分間自己紹介実習（表現学科で得たものベストをプレゼン）	復習：自己紹介文の完成・就活に活かすものへ	30分
6回 大極	原稿持ちプレゼンテーションと原稿暗記プレゼンテーション それぞれのメリット、デメリット比較	復習：両方法の使い勝手を理解	30分
7回 大極	シンブルスライド（TED版）とテキストスライド（社用版） それぞれのメリット、デメリット比較	復習：両方法の使い勝手を理解	30分
8回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - 企業面接の詳細理解と実践を想定した紹介文作成	復習：紹介文のブラッシュアップ	30分
9回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - 企業面接の詳細理解と実践を想定した紹介文作成	復習：面接実践に向けて振り返り	30分
10回 大極他	外部ゲストのプレゼンテーションを学ぶ	復習：プレゼンの違いを感じとり、自身のヒントとする	30分
11回 大極	プレゼンテーションVTRから様々なプレゼンを学ぶ TEDを素材にして、あるべき手本を確認する	復習：プレゼンの違いを感じとり、自身のヒントとする	30分
12回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - 企業集団面接の詳細理解と実践を想定したプレゼン実習	復習：集団面接での想定プレゼンを振り返る	30分
13回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - （長所・短所を活かす） グループプレゼン、クラスプレゼン	伝わるプレゼンを考える	30分
14回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - （長所・短所を活かす） グループプレゼン・クラスプレゼン	就活に向けた自分表現をまとめる	30分
15回 大極	まとめとしてペーパー試験実施 授業内容の総合的な理解度を確認する	プレゼンの基本は「人」対「ひと」であることを理解し、将来に向けて振り返り	60分

ポートフォリオ演習

千代崎 寛

服飾表現学科 3年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

分野を問わず様々な領域で活躍するクリエイターは自身の作品や活動の記録を意識的に活用している。この授業の目的はポートフォリオの制作を通じて各自がセルフプロデュースを行っていく手掛かりとすることである。他者に伝えるための客観的な視点に立ち、記録と編集を繰り返すことによって思考プロセスや軸となるもの、魅力となり得る持ち味などを自己分析することができる。編集段階での知的財産権（引用・クレジットなど）の考え方を編集の技術によって実践していく。各自の思考の広がり和社会との関係における視点を準備していく。

■到達目標（学修成果）

1. 各専門分野におけるビジュアルイメージを具体化するための基礎的な「表現能力」を身に付けることが可能となる
2. 制作・演習とノートによる記録を通して「ポートフォリオ」の重要性について考察や理解ができる
3. 多角的な視点でポートフォリオをとらえ活用する術を知ることができる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については「ポートフォリオ演習」は服飾表現の分野で企画・提案や実際の現場において活躍できる専門力向上に資する科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ディスカッションと研究ノート・課題返却のコメント、プレゼンテーションの講評などで授業内にて随時フィードバックを行う。15回目提出された「ノート」の添削、返却方法は授業内に指示します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。研究室：空間構成研究室（日野校舎B棟106）

■備考

専攻・専門の枠内だけではなく他の分野への興味や好奇心・関心や体験を持つことを常に意識して欲しい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・授業概説と導入 ポートフォリオと進路の関係、課題「ノート」について～	復習：配布資料（授業概要、授業計画など）の内容を熟読しておく。	30分
2回 千代崎	演習 1「作品」または「活動記録」のリストアップ 課題 フィールドワーク 「リサーチ 調査」	予習：「ノート」準備 復習：フィールドワーク 調査	60分
3回 千代崎	演習 2「コンセプト・構成を考える」 データ管理の配慮 制作 1台割りとファイリングサンプルの制作	復習：フィールドワーク 調査・プレゼンテーション準備、制作 へ向けて	60分
4回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 制作 2ファイリングサンプルの制作・「ノート」提出	予習：演習 1へむけてのリサーチ 復習：制作 の仕上げ	90分
5回 千代崎	演習 1「記録画像の撮影」スタジオライティング演習 課題 フィールドワーク 「リサーチ 批評」	予習：演習 2へむけてのリサーチ 復習：フィールドワーク まとめと分析	60分
6回 千代崎	演習 2「記録画像の撮影」スタジオライティング演習 制作 1ブックレット制作	予習：演習 2へむけてのリサーチ 復習：制作 の仕上げ、課題 プレゼン準備	30分
7回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 制作 2ブックレット制作	制作 へむけてリサーチ 復習：フィールドワーク 批評準備	60分
8回 千代崎	制作 ブックレット制作プレゼンテーション 制作 1 ポートフォリオ 1 プライバシー・肖像権	復習：制作 の制作・ファイリングリサーチ	90分
9回 千代崎	制作 2 ポートフォリオ 2（ファイリング） 知的財産権の考え方・著作権の表記について	復習：制作 の制作・ファイリングリサーチ	90分
10回 千代崎	制作 1 ポートフォリオ 1（オリジナル製本） 台割りとファイリングサンプルの制作・「ノート」提出	復習：制作 の制作・製本リサーチ	60分
11回 千代崎	制作 2 ポートフォリオ 2（オリジナル製本） グループワークでのブラッシュアップ	復習：制作 の制作・製本リサーチ	60分
12回 千代崎	制作 1 ポートフォリオ 1（オリジナル製本） 台割りとファイリングサンプルの制作・「ノート」提出	復習：制作 の制作・プレゼンテーション準備	60分
13回 千代崎	制作 2 ポートフォリオ 2 グループワークでのブラッシュアップ・プレゼンテーション	復習：制作 の制作・プレゼンテーション準備	60分
14回 千代崎	制作 3 ポートフォリオ 3 プレゼンテーション・講評・「ノート」提出	復習：制作 の制作	90分
15回 千代崎	まとめ・展開 表現・公開・出版	予習：ポートフォリオの継続展開	60分

衣装デザイン・制作

大町 志津子、瀧川 美佐子

服飾表現学科 3年 前期 選択必修（2単位 実験実習）

■授業の方針・概要

この授業の目的は衣装表現に必要な知識と表現力を学び、造形技術の基礎力・応用力を身に付けることにある。担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導により各自の衣装に対する表現力を養う。衣装表現に必要な知識と表現力を写真や映像などで学び、造形していくための基礎力、応用力、技術力を養う。

■到達目標（学修成果）

西洋服飾史の知識を得て時代衣装を把握し、イメージを作りデザイン画を描き実際に制作することができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、服飾表現の基礎となる表現方法を学ぶ科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について随時解説と講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

Patterns of Fashion Janet Arnold著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana著

■オフィスアワー・研究室

日野校舎BG101 オフィスアワー：水曜日13:00-14:00

■備考

進度により日程及び内容を変更する場合がある。
感性を磨きより広い視野を持つことを各自が心がける。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大町	オリエンテーション 19世紀時代衣装の考察・現代の服との関連性について説明	予習：シラバスの確認 復習：時代考証の解釈	60分
2回 瀧川	1/2サイズで衣装製作	予習：イメージ作り 復習：レポート・デザイン画準備	60分
3回 大町	動画を観ながら衣装表現を学びイメージトレーニング デザイン画制作・デザイン相談	予習：テキストの下調べ 復習：制作を進める	30分
4回 瀧川	原型・パターン・トワール制作	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
5回 大町	日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション 18世紀時代衣装の考察、デザイン画の描き方（複写）	予習：デザイン画作成 復習：デザイン画修正	30分
6回 瀧川	トワール制作・点検	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
7回 大町	空間の中での衣装の認識・スタジオ演習、フィードバック、 デザイン相談	予習：デザイン画修正 復習：イメージを深める	30分
8回 瀧川	衣装制作1	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
9回 大町	校外研修（舞台、映画、展覧会鑑賞など）で衣装を総合的に学 ぶ、レポート提出	予習：題材について知識を得る 復習：制作を進める	30分
10回 瀧川	衣装制作2	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
11回 大町	音楽からのイメージトレーニング・デザイン画作成 空間の中での衣装の認識・照明の効果などスタジオ演習	予習：撮影企画書作成 復習：イメージを深める	30分
12回 瀧川	衣装制作3	予習：スタイリング考察 復習：完成イメージを深める	30分
13回 大町	フィードバックとトータルイメージに向けての考察	予習：課題作品を完成させる 復習：レポート作成	60分
14回 瀧川	衣装修正	予習：撮影のための準備 復習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 大町	撮影、フィードバック、ディスカッション	予習：プレゼンテーションの準備	30分

スタイリング演習

中村 のん、数井 靖子

服飾表現学科 3年 前期 選択必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

授業担当者の40年以上にわたるスタイリストとしての経験を元に、スタイリストにとって関わりの深い写真世界への知識を深め、広告・雑誌の作られ方について学びます。また、2年次で学んだ時代別ファッションをふまえた作品作りを通して、流行の変遷の知識を定着させます。授業担当者の実務経験による実際の衣服を使用した授業では、個性を引き出し魅力的に見せるための人と衣服とのバランスやポーズ、撮影における背景やアングル、さらにはファッションを通じて人とコミュニケーションする方法について学びます。

■到達目標（学修成果）

雑誌・写真・広告等におけるファッションの位置づけを理解し、流行と社会の関係を理解する能力を習得し、人と衣服の関係を理解できる知識とスタイリング技術を身につける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。より専門性を高めて学修していく上での基礎科目になります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

感想文は添削して返却する。各提出作品、レポートに評価を与え、授業内外で返却時にフィードバックをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる。

■参考文献

必要に応じて授業時に指示。「増補新版 図解服飾用語事典」（杉野芳子・編著）杉野学園ドレスメーカー学院出版局

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎B203

■備考

スタイリング演習 修得者のみ履修可。写真展鑑賞、撮影等、フィールドワークの内容により学外に出ることもあります。スタイリスト関連のプロをゲスト講師とした講義を行うこともあります。学生が準備する備品に関しては授業時に告知します。進展により、日程及び内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中村	2年で学んだ時代考察をふまえた「時代別ファッションの歴史」のマップ制作のための資料の探し方、見方を講義	予習：資料集め	90分
2回 数井	「時代別ファッションの歴史」のマップ制作のための企画案の提出とフィードバック	予習：資料集め 自宅での制作	90分
3回 数井	「時代別ファッションの歴史」のマップ制作に関する指導	予習：資料集め 自宅での制作	90分
4回 数井	「時代別ファッションの歴史」のマップ制作のためのコラージュ作成&提出、及びプレゼン、フィードバック	予習：資料集め 自宅での制作	90分
5回 中村	「写真の世界」 担当教員のスタイリストとしての40年間の実務経験を踏まえ、写真集の作られ方についての講義	予習：資料集め	90分
6回 中村	「写真の世界」 あらゆる写真媒体におけるスタイリストの役割や、モデルやタレントのイメージ作りについての講義	予習：資料集め 復習：感想レポート	90分
7回 数井	「写真の世界」 写真集を資料としながら、著名な写真家やその世界の理解の仕方、写真の種類について講義	予習：資料集め 復習：感想レポート	90分
8回 数井	「雑誌の読み方・作られ方」 雑誌制作の現場におけるスタッフの構成、制作のプロセス、ページ割、企画の出し方の講義	予習：資料集め 復習：感想レポート	90分
9回 中村	「雑誌の読み方・作られ方」 ジェンダー別、年代別、タイプ別の雑誌の種類と読者ターゲットの見極め方についての講義	予習：書店で雑誌の種類を調べる 復習：感想レポート	90分
10回 中村	雑誌の読み方・作られ方」ファッションページにおけるクレジット、キャプション、必要な用語に関する講義	復習：わからない単語について調べる	90分
11回 中村	「ファッション撮影」 時代別ファッションをテーマに、「ある時代」をテーマとしたスタイリングの実践	予習：自前の洋服や小物を集める	90分
12回 中村	「ファッション撮影」 担当教員のスタイリストとしての40年間の実務経験からロケ撮影におけるスタイリストの動きを指導	復習：感想レポート	90分
13回 中村	「ファッション撮影」 撮影した写真のプレゼン、セレクトの方法を講義し、フィードバックとディスカッション	予習：画像セレクトして教室内のPCにデータをまとめる	90分
14回 数井	「ファッション撮影」 撮影した写真を元に写真集を制作	予習：自宅での制作	90分
15回 数井	「ファッション撮影」 撮影した写真を元に写真集を制作	予習：自宅での制作	90分

ビジュアルマーチャンドライジング演習

中島 ゆう子

服飾表現学科 3年 前期 選択必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

VMDを学ぶ。ビジュアルマーチャンドライジングは、ファッションの基本、素材名、ディテイル名、アイテム名、サイズなど学生が触って覚える授業を実施。将来、企業で働いた時に必要なファッションの基本を徹底的に指導し、どんな時にも対応できるレベルアップを図る。後半は催事を伴ったVPを主力にしたマケットを作成。資質、能力、判断力、知識、教養がある豊かな人間性を作り上げることを目指します。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

■到達目標（学修成果）

ファッションの基本をじっくり学ぶ。店舗の販売戦略、販売商品、流行カラー、トレンド分析など基本を学ぶ。1年間の営業スケジュールを理解し、売り場の流れ、販売戦略が組める人材を育成することが目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ビジュアルマーチャンドライジング専攻学生の卒業認定に必要な科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

改定第3版 国家検定 商品装飾展示技能検定 学科編 技能編 著者：日本ビジュアルマーチャンドライジング協会

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

■備考

ビジュアルマーチャンドライジング検定3級合格を目指します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中島	基本用語の復習。ゴールデンゾーンの意味、ゴールデンゾーン、VP活用法などを指導。	予習：基本用語の暗記	45分
2回 中島	素材の基本を学ぶ。VMDに必要な素材名を触って理解する授業の実施。カットソー、布帛、ニットを学ぶ	復習：天竺、畦編み、コーディロイなど市場で流通する素材を事前調査	45分
3回 中島	素材小テスト実施。ディテイル名の勉強。ネックの名称、袖の名称、袖口の名称など全てを暗記する。	復習：勉強したディテイル名を暗記	45分
4回 中島	4回 アイテム名の勉強。カーブパンツ、クロフトストプス、パンツ、重衣料、ワンピースなどアイテム名を覚える。	予習：勉強したアイテム名の暗記。	45分
5回 中島	ディテイル、アイテム名の小テスト実施。 1月～6月。店舗写真を使い月度毎の売り場展開を学ぶ。	復習：1月～6月の店舗運営に必要な事項をレポートにまとめる。	45分
6回 中島	7月～12月。店舗写真を使い月度毎の売り場展開を学ぶ。 主要アイテム、別度別カラーの流れ、コーディネートなど。	復習：7月～12月の店舗運営に必要な事項をレポートにまとめる	45分
7回 中島	5回、6回の授業を受けてから52週営業スケジュール作成。 1年間の売り場の運営、戦い方の表を作成、提出。	復習：52週営業ストーリーを作成。 提出日は8回目の授業開始時。	45分
8回 中島	マーケットリサーチ実施。企業がどんなフェアや催事を仕掛けているかの調査。その後ディスカッション。	復習：コラージュ作成。	45分
9回 中島	VPマケット作成①魅力的なコラージュ、及びVP計画書作成。 フェア催事を含めて集客力が上がる店舗空間が基本。	予習：100円ショップで店舗に使う小物を購入。	45分
10回 中島	VPマケット作成②1/10サイズで作成。 床、壁面、天井の決定。	予習：足りない小物を追加購入。	45分
11回 中島	VPマケット作成③1/10サイズで作成。什器の決定。 質問、修正を重ねながら進行する。	復習：自宅で棚、ラック、ハンガーを作成。	45分
12回 中島	VPマケット作成④1/10サイズで作成。商品の決定。パンフレット、POPなどを作成。	復習：VPを完成させる。	45分
13回 中島	VPマケット作成⑤1/10サイズで作成。 最終仕上げ。次週のプレゼン練習。	復習：プレゼン練習。	45分
14回 中島	VPマケット作成⑥プレゼンテーション実施 講評とディスカッション。作品を写真にて保存する。	復習：プレゼン反省	45分
15回 中島	VMD検定のチェック。課題を検討しビジュアル検定に合格できるノウハウを身につける。	復習：レポート提出。	45分

メディア表現（映像・ショープロデュース）

角倉 典彦、澤野 洋士

服飾表現学科 3年 前期 選択必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

課題による様々な映像作品制作演習を主なものとする。実務者である現役映像ディレクターの指導の下、個別制作とグループ制作により課題テーマを、企画/撮影準備/撮影/編集などにより具現化する。スタジオ形式の模擬放送番組制作とインターネット放送局運営の実施演習も行う。模擬ファッションショーの企画立案と制作も行う。目黒校舎でのオープンキャンパス日に模擬放送収録をデモンストレーションする。

■到達目標（学修成果）

映像制作のノウハウや技術だけではなく、論理的な企画/構成を立てられる思考方法の修得を目指す。映像を主体として様々な表現方法を使い分けられるようになることが目的である。また学生がファッションショーを自主運営出来ることも到達目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

メディア表現専攻学生の卒業要件科目で、必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

メール等を活用し常時質問等を受け付ける。課題については授業内で講評。レポートはその都度メールにて提出し、添削後メールで返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

特になし

■参考文献

その都度プリントにて配布

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。研究室：日野校舎B105映像・メディア表現研究室 連絡：教務課

■備考

動画撮影カメラとノンリニア編集ソフト(プレミアなど)を、使いこなせることを前提とする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 角倉	オリエンテーション 課題1 映像制作 企画立案 (日野校舎)	具体的内容（予習・復習等） 復習：番組企画書と構成案の作成	120分
2回 角倉	課題1 映像制作 企画プレゼンテーション/ロケーションハンティング/撮影準備/撮影 (日野校舎)	復習：撮影	120分
3回 澤野	課題1 映像制作 編集/MA (日野校舎)	復習：編集/MA 復習：編集/MA	60分
4回 角倉	課題1 作品プレゼンテーション、講評 課題2提示 映像制作 企画立案 (目黒校舎)	復習：番組企画書と構成案の作成	120分
5回 澤野	課題2 映像制作 企画プレゼンテーション/ロケーションハンティング/撮影準備/撮影 (日野校舎)	復習：撮影	120分
6回 澤野	課題2 映像制作 撮影 (日野校舎)	予習：撮影データ管理/整理	60分
7回 澤野	課題2 映像制作 編集/MA (日野校舎)	復習：編集/MA	120分
8回 角倉	課題2 作品プレゼンテーション、講評 課題3提示 映像制作 企画立案 (目黒校舎)	復習：番組企画書と構成案の作成	60分
9回 澤野	課題3 映像制作 企画プレゼンテーション/ロケーションハンティング/撮影準備/撮影 (日野校舎)	復習：撮影	60分
10回 澤野	課題3 映像制作 撮影 (日野校舎)	予習：撮影データ管理/整理	30分
11回 澤野	課題3 映像制作 編集/MA (日野校舎)	予習：撮影データ管理/整理 復習：編集/MA	120分
12回 角倉	課題3作品プレゼンテーション、講評 完成作品ポートフォリオ制作ー	復習：ポートフォリオ完成	60分
13回 角倉	模擬放送局立ち上げ準備 グループ討議 サブ出しVTR編集/テロップ作成/リハーサル (日野校舎)	復習：構成案/シナリオ作成	60分
14回 角倉	模擬ファッションショー企画運営 (日野校舎)	復習：サブ出しVTRの制作	120分
15回 角倉	オープンキャンパス日に模擬放送「SUGINO.TV(仮称)」運営制作デモンストレーション (目黒校舎)	予習：当日段取り確認	60分

衣装デザイン・制作

大町 志津子、瀧川 美佐子

服飾表現学科 3年 後期 選択必修（6単位 演習）

■授業の方針・概要

この授業の目的は衣装表現に必要な知識と表現力を学び、造形技術の基礎力・応用力を身に付けることにある。担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導により各自の衣装に対する表現力を養う。

■到達目標（学修成果）

西洋服飾史の知識を得て時代の衣装を把握し、イメージ作りデザイン画を作成し実際に制作することができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、服飾表現の基礎となる表現方法を学ぶ科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について随時解説と講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

Patterns of Fashion Janet Arnold著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana著

■オフィスアワー・研究室

日野校舎G101 オフィスアワー：水曜日11:00-12:00

■備考

進度により日程及び内容を変更する場合もある。 感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大町	オリエンテーション 19世紀時代衣装の考察、現代の服との関連性について	復習：文献・資料を見ておく	60分
2回 瀧川	衣装制作1（19世紀）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
3回 大町	イメージトレーニング・デザイン画作成、デザイン相談1	予習：時代考証を行う 復習：レポート、デザイン画作成	60分
4回 瀧川	衣装制作2	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
5回 大町	企業（衣装制作関連）において学外演習を行う	復習：学外演習日誌の記入・講評	60分
6回 瀧川	衣装制作3	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
7回 大町	服飾資材についての説明 イメージトレーニング・デザイン画作成、デザイン相談2	予習：レポート、デザイン画修正 復習：イメージを深める	60分
8回 瀧川	衣装制作1	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
9回 大町	20世紀衣装の考察、音楽を聴いてのイメージトレーニング デザイン相談1	予習：題材について知識を得る 復習：イメージのレポート作成	60分
10回 瀧川	衣装制作2	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
11回 大町	イメージトレーニング、デザイン相談2 空間の中での衣装の認識・スタジオ演習	予習：イメージを深める 復習：イメージを深める	60分
12回 瀧川	衣装制作3	予習：撮影企画書作成 復習：トータルイメージを深める	60分
13回 大町	トータルイメージに向けての考察 撮影企画書提出	予習：作品を完成させる 復習：ポートフォリオ作成	60分
14回 瀧川	衣装制作4（修正）	予習：撮影のための準備をする 復習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 大町	撮影・プレゼンテーション・ディスカッション・講評 ポートフォリオ提出	予習：プレゼンテーションの準備	30分

スタイリング演習

中村 のん、数井 靖子

服飾表現学科 3年 後期 選択必修（6単位 演習）

■授業の方針・概要

スタイリストの仕事は、各分野のプロたちや様々なカルチャーと交流します。人とのコミュニケーションとあらゆるニーズへの対応力はスタイリストにとって非常に重要です。学外演習を主とし、授業担当者の40年のキャリアの中で関係してきた企業、または個人の元での実体験を通して視野を広げ、スタイリストのみならず、アパレル業界、エンタメ業界への理解を深めます。「白いシャツから広がる世界」では、学外演習を通して学んだ知識やスキルを活かし、リメイク衣装の制作とスタイリング、撮影の実践を通して、人を魅力的に見せる衣服のバランスを見る力・ファッションを通して人とコミュニケーションする自信を身につけます。

■到達目標（学修成果）

学外演習と写真撮影を通してプロとして仕事をしていく上での自信につなげていきます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。プロになることを前提に、より専門性を高め学修していく上での科目になります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

感想文は添削して返却する。各提出作品、レポートに評価を与え、授業内外で返却時にフィードバックをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は返却された課題を含め、一冊のファイルにまとめる。

■参考文献

授業時に使用する映画のDVDや書籍に関して、図書館から借りる、購入する、レンタルする等に関しては事前にタイトルを伝え準備する。学生に購入を求める場合もあります。「はじめてのエシカル」（山川出版社）ほか

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎B203

■備考

スタイリング演習 修得者のみ履修可。学外演習、およびショップリサーチや撮影等、フィールドワークの内容により学外に出ることもあります。スタイリストと関連のあるプロをゲストとして招く可能性もあります。学生が準備する備品に関しては、授業時に告知します。学外演習は企業側の都合を優先しますので、進展により、日程及び内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中村	後期授業のオリエンテーション、スタイリストにとって必要な基本スキルの実践、学外演習に関する説明	準備：たたみ、ラッピングの実践のための自前のアイテム持参	30分
2回 学外	学外演習	課題：ショップリサーチ 復習：感想レポート	120分
3回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
4回 学外	学外演習	課題：授業担当者指定の映画、展示等に行く。 復習：感想レポート	120分
5回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
6回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
7回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
8回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
9回 数井	学外演習体験後の報告。日誌提出。採寸の方法。 課題「白いシャツから広がる世界」デザイン画作成	準備：白シャツ購入	120分
10回 数井	白シャツリメイク制作・スタイリング	準備：リメイクするための材料を揃える	120分
11回 中村	「白いシャツから広がる世界」 スタイリングした白シャツのコーディネート実践	準備：リメイクした作品、 コーディネートに使用するアイテム持参	120分
12回 中村	「白いシャツから広がる世界」 リメイクした白シャツを着用したロケーション撮影実践	復習：感想レポート	60分
13回 中村	「白いシャツから広がる世界」撮影した写真のセレクトとプレゼンとフィードバック	復習：提出に向けて自宅でも制作を進める	120分
14回 数井	「白いシャツから広がる世界」写真集制作	復習：提出に向けて自宅でも制作を進める	120分
15回 数井	課題作品「白いシャツから広がる世界」提出 作品のプレゼンとフィードバック	予習：課題制作 復習：課題図書の感想レポート	120分

ビジュアルマーチャンダイジング演習

中島 ゆう子

服飾表現学科 3年 後期 選択必修（6単位 演習）

■授業の方針・概要

ビジュアルマーチャンダイジングは、V P計画書作成のためにパソコンを使い、単品商品、スタイリング、売り場をイラストレーターで仕上げる。企業に入ってもPCを使いこなせるよう指導。

後半は、ウィンドウディスプレイをリアルサイズで制作。来年度の卒業制作の前準備とする。コラージュを作成し。ファッションテーマ、カラー、スタイリングを決定し、ディスプレイ作業を実践する。

授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

■到達目標（学修成果）

テーマのつくり方、ディスプレイなど実践的な学修をする。実務として売り場のウィンドウディスプレイ及びVMDを作成できることが到達目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ビジュアルマーチャンダイジング専攻学生の卒業認定に必要な科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

改訂版第3版国家検定 商品装飾展示技能検定 学科編 実技編 著書：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは、日野校舎 B 棟 B 205 B 101

■備考

ビジュアルマーチャンダイジング検定3級合格を目指します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中島	VMD検定に必要な学習。コーディネートできる単品4型、カラー、素材を決定し表作成する。	予習：自宅で板絵の練習。テーマをあらかじめ決定。	45分
2回 中島	ネット通販分析。ZOZOTOWN、KOBEレタス、D HOLLICU、うさぎ、PAL CLOSETなどから選ぶ 5社のオンラインの分析。	復習：授業内で終わらなかった項目を自宅で補足する。	45分
3回 中島	VMD向けに単品商品のイラストを描く イラストレーター、フォトショップを覚える。鉛筆で描き、PCでの作業	復習：ファッションテーマを考える。	45分
4回 中島	ネット通販分析。Shein、Ali express、夢展望、GRL、ショップリスト、BUYMA、BASE、Me jlw00、などから5社選択	復習：授業内で終わらなかった項目を自宅で補足する。	45分
5回 中島	VMD向けに単品商品のイラストを描く 素材感を入れ、テーマカラーに合わせ着色する。	予習：スタイリング、コーディネートを考える。	45分
6回 中島	学外授業 ココベイ株式会社 代表取締役 磯部 孝 世田谷区太子堂2-12-3 オカベビルB棟3階 03-6450-8877	予習：出された課題を補足する。	45分
7回 中島	VMD向けにスタイリングを描く 鉛筆で描き、PCで仕上げる作業。	予習：テーマからVPデザインまで、連動性を持ってテイストを構築する。	45分
8回 中島	学外授業 ココベイ株式会社 代表取締役 磯部 孝 世田谷区太子堂2-12-3 オカベビルB棟3階 03-6450-8877	予習：出された課題を補足する。	45分
9回 中島	VMD検定で必要なVPスケッチを描く パソコンを駆使し、VPを作成。	復習：VMDテーマの作成。PCで必要なアイテムを選ぶ作業。	45分
10回 中島	学外授業 ココベイ株式会社 代表取締役 磯部 孝 世田谷区太子堂2-12-3 オカベビルB棟3階 03-6450-8877	予習：出された課題を補足する。	45分
11回 中島	自分で作るならこんなネット通販	予習：ネット通販を調べる。	45分
12回 中島	学外授業 ココベイ株式会社 代表取締役 磯部 孝 世田谷区太子堂2-12-3 オカベビルB棟3階 03-6450-8877	予習：出された課題を補足する。	45分
13回 中島	自分で作るならこんなネット通販	予習：ネット通販の長所、短所を把握する。	45分
14回 中島	学外授業 ココベイ株式会社 代表取締役 磯部 孝 世田谷区太子堂2-12-3 オカベビルB棟3階 03-6450-8877	復習：提出した成果物の反省。	45分
15回 中島	ネット販売商品説明を作成。ブラウス&シャツ、カットソー、ニット、ボトムスなど各5型35品のセールストークを作成。	復習：効果的なセールストークをそれぞれアイテム毎に作成する練習をする。	45分

ビジュアルマーチャンダイジング演習

中島 ゆう子

服飾表現学科

3年

後期

選択必修（6単位 演習）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 中島	ネット販売商品説明を作成。ブラウス&シャツ、カットソー、ニット、ボトムスなど各5型35品のセールストークを作成。	復習：効果的なセールストークをそれぞれアイテム毎に作成する練習をする。	45分
17回 中島	コンシューマ分析 今どきヤングのライフスタイル分類 ファッション分類、消費者分類、国内マーケット分析	予習：今どきのヤングをグループ分けし分類する。	45分
18回 中島	コンシューマ分析 今どきヤングのライフスタイル分類 ファッション分類、消費者分類、国内マーケット分析	予習：時間が足りない箇所を自宅で補足。	45分
19回 中島	ブランドポジショニング分析 どの位置にブランドがあるのか表を作成	予習：ブランド名を把握する。	45分
20回 中島	ブランドポジショニング分析 どの位置にブランドがあるのか表を作成	予習：時間が足りない箇所を自宅で補足。	45分
21回 中島	ブランドポジショニング分析 どの位置にブランドがあるのか表を作成	予習：時間が足りない箇所を自宅で補足。	45分
22回 中島	ウィンドウディスプレイ演習① 卒業制作の前準備を開始。マーケティング、イメージカラー、V P 計画書作成。	予習：100円ショップで小物を買う。	45分
23回 中島	ウィンドウディスプレイ演習② 使用するアイテムを手配する。ディスプレイ小物の作成。	復習：足りない小物を自宅で作成。	45分
24回 中島	ウィンドウディスプレイ演習③リアルサイズで制作。完成までのスケジュール表作成。予算の組立て。	予習：使用するコーディネートアイテムを購入する。	45分
25回 中島	ウィンドウディスプレイ演習④ 壁面・床を作成。	予習：床材、壁材の手配。	45分
26回 中島	ウィンドウディスプレイ演習⑤衣装を準備しマネキンに着せる。ファッション雑貨をコーディネート。	復習：マネキンに綺麗に着せる手法をネット検索する。	45分
27回 中島	ウィンドウディスプレイ演習⑥ 手作りで作ったディスプレイ小物を飾る。	予習：手作り小物最終点検。足りない小物を自宅で作成。	45分
28回 中島	ウィンドウディスプレイ演習⑦ 什器を用意、固定する。棚、テーブル、ステージなど。	予習：手作り小物最終点検。足りない小物を自宅で作成。	45分
29回 中島	ウィンドウディスプレイ演習⑧ 什器など必要な物を準備及び配置。プレゼン準備	予習：プレゼン準備。発声練習、明確に言葉を発せられるかなど。	45分
30回 中島	ウィンドウディスプレイのプレゼンテーション⑨ 場所：日野校舎 * 冬休みの課題はVMD検定の指示	復習：プレゼンテーションの反省。	45分

メディア表現（映像・ショープロデュース）

角倉 典彦、千代崎 寛、澤野 洋士

服飾表現学科 3年 後期 選択必修（6単位 演習）

■授業の方針・概要

本講座は、制作会社の様々な現場でのアシスタント業務を経験する学外演習授業を主なものとする。全体を4期に分け、第1期は9月上旬に渋谷を中心に開催される東京コレクション(Rakuten Fashion Week Tokyo)の公式記録ビデオ撮影/制作と当日のライブ配信アシスタントを行う。また当日の各ショーの設営から本番までの運営次第も観察する。第2期は全国デザインコンテスト運営のアシスタントを行う。第3期は放送開始40年となるBSテレビ東京放送「ファッション通信」のポストプロダクションでの制作アシスタントを務める。第4期はプロの現場での経験を活かし、現役の映像ディレクター指導による課題作品のグループ制作を行う。

■到達目標（学修成果）

ファッションを中心とした映像制作会社での基本的なアシスタントプロデューサー、アシスタントディレクターやアシスタントカメラマンの業務と全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタントをOJTで経験把握し、学生本人にどの業務や職種に適性があるか自己判断ができるようになること。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

メディア表現専攻学生の卒業要件科目で、必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

メール等を活用し、常時質問等を受け付ける。レポートは添削してメールにて返却をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

特になし

■参考文献

その都度配布

■オフィスアワー・研究室

外演習先企業担当者（初日に説明します）(株)インファス・ドットコム事務所 研究室：日野校舎B105映像・メディア表現研究室

■備考

授業日以外の事前ガイダンスは必ず参加すること。スケジュール等を確認します。

Word、Excel、PowerPoint、Premier Proの基本操作ができること。

指導は各プロデューサーやディレクター、カメラマンが行う。なお第1期、第3期は各日6～10時間のフルタイム演習となる。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 角倉	東京コレクションのオリエンテーション。基本業務の流れの把握。スタッフ編成と総合進行表の理解（六本木）	復習：当日のスケジュール、業務内容を記録する	30分
2回 角倉	機材準備。機材の会場搬入、ケーブル敷設、機材セッティング。以下実地指導はINFAS.comスタッフ(六本木～渋谷)	復習：機材の理解	30分
3回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習：当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
4回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習：当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
5回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習：当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
6回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習：当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
7回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習：当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
8回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習：当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
9回 千代崎	全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタント事前モデルオーディション SUNデザイン研究所指導(目黒)	復習：修得したことをまとめる 第2期のレポート作成	30分
10回 千代崎	全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタント前日リハーサルなど SUNデザイン研究所指導(目黒)	復習：修得したことをまとめる 第2期のレポート作成	30分
11回 千代崎	全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタント当日 SUNデザイン研究所指導(目黒)	復習：修得したことをまとめる 第2期のレポート作成	30分
12回 角倉	「ファッション通信」のオリエンテーション。ポストプロダクションにて映像編集。INFAS.comスタッフ指導(六本木)	復習：修得したことをまとめる 第3期のレポート作成	30分
13回 角倉	ポストプロダクションにて再編集、音効打合せ、ナレーション原稿作成チェック。INFAS.comスタッフ指導(六本木)	復習：修得したことをまとめる 第3期のレポート作成	30分
14回 角倉	ポストプロダクションにてMA、ナレーション、音楽録音。完パケ試写。INFAS.comスタッフ指導(六本木)	復習：修得したことをまとめる 第3期のレポート作成	30分
15回 澤野	グループ制作 課題提示、企画立案討議、スタッフ編成、リサーチ、構成案作成（日野校舎）	復習：構成案作成、リサーチ	60分

メディア表現（映像・ショープロデュース）

角倉 典彦、千代崎 寛、澤野 洋土

服飾表現学科

3年

後期

選択必修（ 6単位 演習 ）

■ 授業計画

[illegible]

服飾手芸（ニットを含む）

岡本 真希子

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 （1単位 実験実習）

■授業の方針・概要

編物の代表的な三つの技法 かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みについて、基礎的な技法を習得します。それぞれの技法に合わせた、作品を作る為に必要な増減法、とじ、はぎ、素材の特徴に合った組み合わせや編み方を学び、作品作りに活かせるように学びます。

■到達目標（学修成果）

かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みの基礎技法を学び、編めるようになる。編目記号図（JIS記号）を理解する。かぎ針編みでは、モチーフを編む。棒針編みでは、身に着ける作品の制作を進めながら、制作に必要な知識を得る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題として、かぎ針編みモチーフつなぎ、棒針編みの基礎編みサンプル、アフガン編みの基礎編みサンプル、を提出。添削後、順次返却します。

棒針編みの応用課題作品を提出

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

いちばんよくわかる新・かぎ編みの基礎 / いちばんよくわかる 新・棒針編みの基礎
いちばんよくわかる アフガン編みの本

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課 出講日：金曜日

■備考

必要に応じてプリントを配布しますので、ファイリングをして常に授業に携帯して下さい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 岡本	かぎ針編み：針の持ち方，基礎編み（鎖編み，細編み，長編み，等）	復習：その日に習った技法の復習（長編み，細編みが編めるように）	60分
2回 岡本	かぎ針編み：モチーフを作成	復習：その日に習った技法の復習 モチーフ1枚めを完成させる	60分
3回 岡本	かぎ針編み：モチーフをつなぐ	復習：その日に習った技法の復習 モチーフをつなぎ完成させる	60分
4回 岡本	棒針編み：針の持ち方，基礎編み（作り目，表編み，裏編み，伏せ目）	復習：その日に習った技法の復習（表編み，裏編みを練習する）	60分
5回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（編み込み模様2種類 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
6回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（表目と裏目の模様，透かし模様）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
7回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル製作（交差模様，1目ゴム編み，2目ゴム編み 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
8回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての説明 とじ・はぎをパターンで練習する	応用課題作品の制作に向けて何を考えるか考えてくる	60分
9回 岡本	アフガン編み：針の持ち方，基礎編み（ブレーンアフガン）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
10回 岡本	アフガン編み：基礎編みのサンプル作成（かのご模様，ねじり目模様 等）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
11回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての相談	応用課題作品の制作を始める	90分
12回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
13回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
14回 岡本	棒針編み：応用課題作品 提出	復習：基礎編みサンプルの復習	60分
15回 岡本	まとめ：課題のフィードバックを行う	復習：基礎編みサンプルの復習，とじはぎ仕上げの復習	30分

リテールマーチャンダイジング

松澤 宏

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

・全てのリテールビジネスの基本であるマーチャンダイジングの概要理解を軸に、担当講師自身の27年の百貨店実務と商社勤務5年での経験に基づく知見を活かし具体例に触れながら、「販売計画」を構成する要素を体系的に学びます。
・通して受講することで、自身が考えるショップコンセプトや品揃え、ビジネスとしての捉え方を具体的にイメージ出来るようになります。様々な切り口からリテールビジネスの企画立案・計画実務に活かすことが出来るようになります。

■到達目標（学修成果）

・リテールビジネスの基礎を習得し、あらゆる職種で自主的なショップ計画が出来る体系的な理解を目指す。
・マーチャンダイジング基礎理論の習得と、自身の自由な発想と独自性の発露。その双方をバランスよく学び、実践できるようになる「実学」を目指す。
・本科目ではグループワークを含むアクティブラーニングを実施する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、あらゆるファッションビジネスで活躍出来る専門力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で発する課題について作成いただいた成果物を、授業終了後提出していただき、希望者に返却いたします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

指定教科書無し。毎回学習資料を配布いたします。授業は講師作成のパワーポイント教材による講義と各種演習となります。

■参考文献

無し

■オフィスアワー・研究室

月曜日 午前中 第 校舎〇階(〇〇〇教室)にて10:40～12:10まで

■備考

無し

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 松澤	マーチャンダイジングとは ～リテールマーチャンダイジングの意味と目的	予習：シラバスの確認 復習：あなたがFBを通してやりたいこと	45分
2回 松澤	リテールの歴史とマーチャンダイジングの変遷 ～発展の歴史・市場を取り巻く環境変化・トレンドと未来	予習：マーケティングトレンドの想像 復習：好きなファッションとその理由	30分
3回 松澤	グループディスカッション ～私の好きなお店・やってみたいお店・その理由	予習：課題指示に従い事前構想記述 復習：演習成果物の振り返り	75分
4回 松澤	グループ発表 ～私の好きなお店・やってみたいお店・その理由	予習：発表内容の確認 復習：演習成果物の振り返り	45分
5回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「誰に」 ～マーケティング戦略・顧客戦略・顧客分類・顧客満足	予習：自分が狙いたい顧客像の想像 復習：顧客設定項目の振り返り	45分
6回 松澤	顧客設定演習 ～ペルソナを決める	予習：顧客設定項目の予習 復習：演習の振り返り	30分
7回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「何を」 ～商品計画・商品分類と展開分類・商品量・価格	予習：自分が商売したい商品の想像 復習：基本設定項目の振り返り	45分
8回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「いつ」 ～期間区分・季節区分・シーズンMD計画	予習：季節の区分を想像 復習：あなたが好きな季節とアイテム	30分
9回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どこで」 ～チャネル・立地・場所・「どこで」の変化	予習：馴染みの街の立地特性を想像 復習：出店したい場所の立地を想像	30分
10回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どのように-I」 ～購買意欲を高める場づくり・商空間特性・VMD	予習：好きな店の空間特性を考察 復習：作ってみたい商空間を想像	45分
11回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どのように-II」 ～購買意欲を高める仕掛け・販売促進・メディア	予習：好きな店の仕掛けを考察 復習：あなたがやってみたい媒体戦略	45分
12回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「なぜ」 ～自分の店の存在意義とその理由・現状分析・理念	予習：好きな店の理念を考察 復習：自分自身の理念を考察	45分
13回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「販売サービス」 ～販売サービスの構成・販売管理・販売行動・しくみの変化	予習：自分が印象に残る接客を考察 復習：実践したい販売サービスを想像	30分
14回 松澤	ストアプラン演習-I ～私のマーチャンダイジングコンセプト計画（個人ワーク）	予習：課題指示に従い課題の事前構想 復習：演習成果物の振り返り	75分
15回 松澤	ストアプラン演習-II ～私のマーチャンダイジングコンセプト計画（発表）	予習：課題の事前構想 復習：将来の自身の仕事の具体的想像	75分

ショップディスプレイ

石井 健太

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

講師の実際の仕事例を紹介しながら、ショップディスプレイ / デザイン / マーケティングの考え方を学んでゆく。

■到達目標（学修成果）

ショップディスプレイとは企業戦略を視覚化する仕事。ショップの企画立案から実際の設計までを授業内で完成させる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の単位で卒業要件となります。「ショップディスプレイ」は、空間演出の基礎力とビジネスの基礎知識の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎授業終了時にレポート。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

なし

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	オリエンテーション	特になし	30分
2回 2	VMDとショップディスプレイ	特になし	30分
3回 3	ショップの原点の確認 モロッコ 明治日本 より	特になし	30分
4回 4	ショップの原点の確認 アメリカ 昭和日本 より	特になし	30分
5回 5	ショップの原点の確認 トルコ より	特になし	30分
6回 6	世界の百貨店の成り立ちの確認 フランスより	特になし	30分
7回 7	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
8回 8	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
9回 9	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
10回 10	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
11回 11	商品ディスプレイプランの作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
12回 12	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
13回 13	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
14回 14	発表	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
15回 15	発表 総評	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分

服飾クラフト

永田 貴恵子

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

手芸 (Hand Craft) は、世界各地で古い昔から行われその土地の生活様式に合った特有の色や模様が作り出されて来ました。本授業では様々な刺しゅうの知識を深め、基礎となる刺しゅうの材料 (布・糸・針など) の扱い方や技法を学びます。

■到達目標 (学修成果)

フランス刺しゅうやクロスステッチなど様々な刺しゅうを実際に作品を制作しながら基本的な技法が習得出来ます。基礎刺しの名称と刺し方を理解し正しく刺しゅうが出来ることを目標とします。

また、図案を構成し刺しゅう技法を組み合わせる応用力をつけることも目指します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目で卒業要件科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品返却時にその都度講評をします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に適宜プリントを配布します。

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日 連絡先：教務課

■備考

別途教材費がかかります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 永田	様々な刺しゅうを知る 刺しゅう材料の取り扱い方 図案の写し方 フランス刺しゅう基礎の準備 サンプラーの制作	予習：シラバスを読む 復習：フランス刺しゅう基礎の確認	30分
2回 永田	フランス刺しゅう基礎 アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等	復習： アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等の確認	30分
3回 永田	フランス刺しゅう基礎 ブランケットS レイジーデイズS フレンチノットS サテンS等	復習： ブランケットS レイジーデイズS フレンチノット サテンS等の確認	30分
4回 永田	ビーズ・スパンコール刺しゅう ビーズ・スパンコール刺しゅうの基礎	復習：ビーズ・スパンコールの確認 予習：自由図案を考える	30分
5回 永田	ミラーワーク、リボン刺しゅう ミラーの留め方 リボン刺しゅうの基礎 自由図案による刺しゅうの制作	復習：ミラーの留め方、リボン刺しゅうの確認	30分
6回 永田	刺しゅうの応用制作 刺しゅうの仕上げ	復習：刺しゅう応用制作のステッチの確認	30分
7回 永田	クロスステッチ ピンクッションの制作 クロスステッチの基礎	復習：フランス刺しゅう基礎の整理 予習：クロスステッチの図案を考える	30分
8回 永田	クロスステッチ クロスステッチの針の動き方 糸の替え方 糸の始末の仕方	復習：クロスステッチの刺し方糸の替え方、糸の始末の仕方の確認	30分
9回 永田	クロスステッチ 仕立て方、とじ方	復習：クロスステッチの仕立て方、とじ方の確認	30分
10回 永田	クロスステッチ 仕上げ	復習：クロスステッチの基礎の整理	30分
11回 永田	スモッキング刺しゅう スモッキングバッグの制作 スモッキング刺しゅうの基礎	復習：スモッキング刺しゅう基礎の確認	30分
12回 永田	スモッキング刺しゅう ダイヤモンドSの刺し方	復習：ダイヤモンドSの確認	30分
13回 永田	スモッキング刺しゅう 糸の替え方、糸の始末の仕方。	復習：糸の替え方、糸の始末の確認	30分
14回 永田	スモッキング刺しゅう 仕上げ方	復習：スモッキング刺しゅうの整理	30分
15回 永田	授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認と刺しゅうの知識を整理する	復習：授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認を行う	30分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

■到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで、社会人としての基礎やマナー、ビジネススタンスを身に付けます。さらに、自分の適性を見極め、将来の就職に生かせる理解と能力を養うことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、グループワーク・課題や最終報告書・報告会による講評を授業内やメール、ポータルサイトからフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

■備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上～12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	予習：履歴書を作成する	60分
3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

民族衣装論

梅谷 知世

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

世界各地の民族服飾はそれぞれの自然環境や文化環境の中で育まれ、時代とともに変化しながら今日に受け継がれてきました。この授業では、アジアを中心にアメリカやヨーロッパなど世界の民族服飾を取り上げ、人びとの手仕事によってつくられてきた民族服飾の形、素材、織・染め・刺繍などの技法、文様について学びます。また、民族服飾がどのような背景の中で成立し変化してきたのか、民族服飾が民族にとってどのような意味をもつのかという問題について、背景にある気候風土や暮らし、信仰、異文化交流など多様な視点から考えていきます。講義形式ですが、教員からの質問についてグループ内でのディスカッションも行います。

■到達目標（学修成果）

1. 民族服飾の多様なあり方を知り服飾文化に対する視野を広げる。
2. 民族服飾の成立・変化と自然環境・文化環境との関係性や、民族服飾の意味について理解する。
3. 民族服飾を通して異文化への関心を深める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業認定科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

■参考文献

国立民族学博物館編『国立民族学博物館展示案内』（2017）

その他の参考文献は授業中に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

世界各地の民族に関心を持ち、新聞やインターネットの報道に注意するようにしてください。

美術館や博物館に足を運び、民族服飾の実物を見学する機会を持つよう心がけてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	民族服飾とは何か	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	民族服飾を学ぶ視点	予習：参考文献を図書館で確認する。	90分
3回 梅谷	アメリカの民族服飾（グアテマラ）	予習：グアテマラの気候風土とマヤ民族の歴史について調べる。	90分
4回 梅谷	東アジアの民族服飾（中国・旗袍）	予習：近代中国の歴史について調べる。	90分
5回 梅谷	東アジアの民族服飾（中国・少数民族）	予習：中国の少数民族の居住地域を確認する。	90分
6回 梅谷	博物館見学	復習：博物館見学のレポートを作成する	90分
7回 梅谷	東アジアの民族服飾（アイヌ）	予習：アイヌ民族の歴史について調べる。	90分
8回 梅谷	東アジアの民族服飾（琉球）	予習：琉球王国と近現代沖縄の歴史について調べる。	90分
9回 梅谷	東南アジアの民族服飾（ラオス）	予習：ラオスの気候風土と歴史について調べる。	90分
10回 梅谷	南アジアの民族服飾（インド）	予習：インドの気候風土と歴史・宗教について調べる。	90分
11回 梅谷	南アジアの民族服飾（インド西部）	予習：インド西部の気候風土について調べる	90分
12回 梅谷	西アジアの民族服飾（サウジアラビアなど）	予習：西アジアの気候風土と宗教について調べる。	90分
13回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾（スコットランド）	予習：スコットランドの気候風土と歴史について調べる。	90分
14回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾（東欧）	予習：ブルガリアとルーマニアの気候風土と歴史について調べる。	90分
15回 梅谷	まとめ	復習：これまでの授業内容を振り返り十分理解する。	90分

染織史

大久保 尚子

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日本の染織技法の種類と歴史的展開を、意匠との関係、海外との影響関係にも注目して学習します。各時代に特徴的な染織意匠を文化的背景とともに紹介します。映像資料と実物資料を提示し技法、意匠の特色を体験的に学習し、展覧会見学を通し知識に基づく作品理解を深めます。

■到達目標（学修成果）

・歴史上にみられる染織技法について、技法による表現効果の違い、意匠との関係に注目して理解し、自ら具体的な作品例をとりあげ技法と意匠の特徴について説明できる。
・意匠と同時代文化との関係について理解を深め、授業で示した資料を活用し説明することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業時の課題やレポート提出等に学内システムを活用します。博物館見学時の連絡等にメールを使用する場合があるため担当者のアドレスを授業時にお知らせします。課題等のフィードバックは基本的に授業の中で行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

■参考文献

小笠原小枝『染と織の鑑賞基礎知識』至文堂1998年、河上繁樹、藤井健三『織りと染めの歴史』昭和堂1999年 その他授業の中で示します。

■オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎一階教務課 後期 授業のある金曜日（14時～14時30分）第3校舎講師控え室

■備考

博物館見学の実施回は、状況により変更する場合があります。詳細は授業時に指示します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大久保	染織（テキスタイル）の歴史と現代の服飾の関係（ディスカッション）/手仕事と機械工業/「織り」の技法「染め」の技法	予習：シラバスを読む。復習：授業時に示す復習課題に取り組む	40分
2回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 天然素材による糸、織機の仕組み 織物の基本組織	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
3回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織りの技法 綾、羅、錦 / 正倉院の染織品にみる唐風の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
4回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 縫い取り織（二陪織物、唐織）、縺子織（緞子、綸子）/有職織物と名物裂	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
5回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 緋、縞、綴 / 近世における外来染織の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
6回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 描絵、摺絵、絞り染め、板締め/天然染料の染色、江戸時代小袖の復元	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
7回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 糊防染 型染（小紋、中形）/ジャポニスムと染色型紙	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
8回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 蠟防染（膺織、更紗）、糊防染 友禅染め/更紗のグローバルな影響	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
9回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
10回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学。質疑応答と見学レポート	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
11回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史まとめ 日本の染織の歴史展開、服飾史との関係/技法と意匠の関係/染織技術の近代化	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
12回 大久保	近世の染織意匠 友禅風意匠と友禅染の成立	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
13回 大久保	近世の染織意匠 光琳文様と琳派の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
14回 大久保	近世の染織意匠 山東京伝の見立て小紋と江戸の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
15回 大久保	近代の染織と意匠 染織技術革新と意匠・ジャポニスムとヨーロッパのデザイン運動・日本のデザイン運動 まとめ	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分

ファッションプレゼンテーション演習

児島 やよい

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者の約30年に渡る現代美術やデザインをカバーするキュレーター、ライターとしての実務経験を踏まえて、美術館、ギャラリーや多様な展示施設での他ジャンルの展示会の事例を提示、見学、解説します。見学の際には担当学芸員やアーティストなどとも対話する機会を設ける予定です。それに基づきグループワークやディスカッションを行い、創造に活かす視点を学びます。各自で、及びグループワークで展示会企画を構想、プレゼンする演習により、説得力のある企画、プレゼンテーションの方法を身に付けることを目指します。

■到達目標（学修成果）

展示会や関連プログラムのリサーチから企画、実施までの過程を知り、展示によっていかに新鮮な主張を発信するかを学ぶ。実務を知り、多様な展示会を見学・考察することで、「展示会を企画」する基本的なプロセスを理解する。キュレーターとしての構想力、研究・分析の成果から新たな視点を活かし具体化する体験を通して、ファッションの分野につながる企画、プレゼンテーションの方法を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程の必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

学内システムによりレポート課題及びプレゼン課題についてポイントを解説する。今後の課題、次回見学、授業の内容を掲示する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

特に指定しない

■参考文献

授業時に指示する

■オフィスアワー・研究室

欠席・遅刻の連絡、授業についての質問等はメール、学内システムにて随時受け付ける。その他必要な場合は教務部まで。

■備考

成績表について 中間及び期末課題提出・プレゼン 展示会見学レポート（全10本程度） 授業姿勢・参加度の順に重要視します。展示会見学への参加が必須となり、学期を通して入館料と交通費がかかります（全部で5～6千円の予定。入館料の負担は極力少なくします）。止むを得ず見学を欠席する場合は代替の課題を出すので必ず相談して下さい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 児島	オリエンテーション 授業計画 中間、期末課題について 展示会見学について。各自小レポート発表。	予習： これまで鑑賞した展示会について 興味のあるテーマについて考えをまとめておく。	30分
2回 児島	「展示会というプレゼンテーション」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
3回 児島	「展示会の企画から実施まで」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
4回 児島	「ファッションの展示会、プレゼンテーションの実例」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
5回 児島	「さまざまな展示の手法、最新の傾向について」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
6回 児島	「企画書を書く」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
7回 児島	中間課題プレゼン（各自で展示会を構想・企画、プレゼン）の準備。	復習：中間課題プレゼンを仕上げる。	90分
8回 児島	中間課題プレゼンと講評。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
9回 児島	期末課題プレゼン（グループワーク）に向けてディスカッション。	復習：期末課題プレゼンの準備。	60分
10回 児島	「展示会をめぐる教育・関連イベント、広報などのプログラム」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
11回 児島	「企画の意義、説得力について考える」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンの中間発表を準備。	60分
12回 児島	期末課題プレゼン（グループワーク）の中間発表。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
13回 児島	「ファッションとプレゼンテーション」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンを仕上げる。	90分
14回 児島	期末課題プレゼン（グループワーク）。講評、ディスカッション。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
15回 児島	「展示会見学を通して学んだこと、発見、気づきについて」。ディスカッション。学期まとめ。	復習：各自、学期のまとめ	60分

食物学（食品学）

外川 恵

服飾表現学科 3年 前期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

人間が日常利用している食品の主要成分や特徴，加工・調理による成分等の変化を学ぶ。
食の選択に関わる食品の安全性，食品表示，社会環境との関わりについての基礎知識を得て，適切に情報を読み解く力を養う。

■到達目標（学修成果）

- 1. 各食品の栄養素の特徴，加工・調理による成分の変化を理解し，説明することができる。
- 2. 食品の安全性や加工食品の食品表示について理解し，適切に判断できる。
- 3. 食と社会環境の関わりについて理解し，食生活に活用できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり，学位授与の方針として，専門コースに関わらず選択することが可能である。また，教員免許取得のための教職課程必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「新食品成分表F00DS」 編者 新食品成分表編集委員会 東京法令出版株式会社

■参考文献

随時紹介する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

実践栄養学を履修していることが望ましい。
課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等を用いる場合は事前に必ず教員に確認をすること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	食と社会環境：日本の食生活の変化，日本の食料事情	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 穀類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 いも及びでん粉類，豆類，種実類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 果実類，藻類，きのこ類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 肉類，卵類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 魚介類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 乳・乳製品	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	食品の分類と特徴：嗜好飲料，調味料，油脂類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	食品の安全と選択：食品表示 食品表示法の概要，生鮮食品，加工食品	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	食品の安全と選択：食品表示 食品添加物，アレルギー表示，遺伝子組み換え表示，栄養や保健機能に関する食品表示	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	食品の安全と選択：食中毒，安全性を確保する制度	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食品と調理：調理の意義，おいしさを形成する要因	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	食品と調理：調理法の特徴と食品の変化	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	食品の安全と選択：食育とリテラシー，健康・栄養情報の読み取り方	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分

住居学（製図を含む）

萬羽 郁子

服飾表現学科 3年 後期 選択（2単位 講義）

■授業の方針・概要

住居学に関する基礎的知識の習得を目指し、まず、住居の役割や機能に説明する。次に、住居の歴史的変遷について概説し、間取り・生活の変化や室内環境について学習する。後半には、住まいの安全や住まいの計画（製図を含む）について学習し、健康・快適・安全な住まいについてまとめる。

■到達目標（学修成果）

人間生活の器である住居の役割を理解し、住生活に関して居住者として必要な基礎的知識を身につける。住居の役割と機能、住居の歴史的変遷と生活の変化、室内の環境整備の必要性や維持管理方法について理解する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位であり、教員免許状取得のための教職課程必修科目である。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「住居学」は専門コースに拘らず選択することができ、専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

質問等はメールで対応します。振り返りテストは解説等をフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示する。

■参考文献

授業中に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

前期：なし 後期：土曜日 第3校舎講師控室（第3校舎1階）

■備考

2コマ連続（7・8限と9・10限）や一部をオンデマンド形式で行う場合があります。詳細は初回授業で説明します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 萬羽	オリエンテーション：住居とは、授業計画 住居の役割と機能（グループワーク）	予習：シラバスを読む。中・高家庭科教科書の 関連内容を確認する。	30分
2回 萬羽	気候風土と住まい（プレゼンテーション）	予習：日本・世界の住まいについて調べる。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
3回 萬羽	住宅・住生活の変遷：古代～中世	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
4回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近世の住宅（グループワーク）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
5回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近代～現代	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
6回 萬羽	環境と住生活：温熱環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
7回 萬羽	環境と住生活：空気・音・光環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
8回 萬羽	住まいの安全：高齢者を取り巻く環境・バリアフリー	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：自宅バリアフリー調査をする。	90分
9回 萬羽	住まいの安全：家庭内事故の予防・ユニバーサルデザイン	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
10回 萬羽	住まいの安全：防災	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
11回 萬羽	住まいの選択と管理	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：住宅の選択に関する課題に取り組む。	90分
12回 萬羽	住まいの計画：平面図	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：製図課題の続きを行う。	90分
13回 萬羽	住まいの計画：家具配置	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：家具配置課題の続きを行う。	90分
14回 萬羽	住まいの計画（プレゼンテーション）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
15回 萬羽	まとめと振り返り（小テスト・レポート）	予習：これまでの学習内容を確認する。 復習：振り返りレポートを作成する。	90分

保育学（実習及び家庭看護を含む）

川崎 理香

服飾表現学科 3年 後期 選択（2単位 講義）

■授業の方針・概要

保育学においては、子どもの発達や子どもの他者への関わりについて、担当教員の幼稚園教諭・保育士の実務経験から具体例を聞き、幼児理解の姿勢を学ぶ。また知識だけでなく、自らが活動を体験することにより保育技術の向上を目指し、グループワークやプレゼンテーションによる学び合いによって保育者の役割や子どもへの理解を一層広げたり深めたりする。

■到達目標（学修成果）

- ・乳幼児期の発達を理解できるようになる。
- ・乳幼児期の子どもたちが、出会う身近な存在である人的環境や物的環境との関わりを知ることができる。
- ・教材研究を通して子ども理解を深めることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位となる。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「保育学」は専門コースに拘らず選択することが出来、社会基礎力の向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業のはじめに前回の授業の振り返りを行う。授業の終わりに振り返りシートを記入し、授業内容の理解の深まりを確認する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

毎回レジュメを配布する。

■参考文献

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育、保育保育要領の各解説書

■オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎1階教務課
後期：土曜日（9時00分～10時40分）本校舎1階教務課

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 川崎	オリエンテーション 保育とは何か	予習：シラバスを読む。保育とは何かについて自分なりに考えをまとめる	30分
2回 川崎	乳児の発達の姿と保育	予習：子どもが誕生してから乳児期の発達について調べる	30分
3回 川崎	3～5歳児の成長・発達と保育	予習：幼児期の成長・発達について調べる	30分
4回 川崎	保育者の役割	予習：保育者についてのイメージや役割について考えをまとめる	30分
5回 川崎	5領域の目標とねらい・内容 幼児教育施設の違いについて	予習：子どもの育ちの側面からとらえた5領域について調べる	30分
6回 川崎	遊びを通しての総合的な指導	予習：子どもにとって遊びとはどのような意味を持つのか考えをまとめる	30分
7回 川崎	環境を通して行う保育・教育	予習：社会の状況に応じて変化してきた子どもを取り巻く環境について考える	30分
8回 川崎	一人一人の発達に応じた指導	予習：「個」と「集団」の関係をどのように捉えたらよいのか考える	30分
9回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
10回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
11回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
12回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
13回 川崎	教材研究 「模擬保育」...グループ発表・評価・反省	予習：模擬保育の発表が出来るように練習しておく	30分
14回 川崎	事例研究 保育者の援助を考える まとめ	予習：保育者の具体的な役割を事例について分析・考察しておく	30分
15回 川崎	授業内試験	予習：14回目までの授業の内容の確認	30分

食文化論

外川 恵

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

人間にとっての食のとらえ方，食に関する生活様式を自然環境との関わり，歴史的，文化的，社会的な背景，精神的満足感（おいしさ，楽しさなど）の側面から学ぶ。日本および他国や他宗教等の多様な食文化を理解し，食事のマナーなどは実践できるようになる。

■到達目標（学修成果）

1. 日本および他国，他宗教等の食文化の特徴を理解し，説明できる。
2. 食文化に対して自分の考えを述べることができる。
3. 日常の食事や各国の食事を理解し，マナーを実践することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり，学位授与の方針として，専門コースに関わらず選択することが可能である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

適宜資料を配布する。

■参考文献

日本の食文化 「和食」の継承と食育（新版） 編著者 江原絢子・石川尚子 アイ・ケイ・コーポレーション

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等を用いる場合は事前に必ず教員に確認をすること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	食生活と文化 共食の意義	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
2回 外川	日本の食文化 和食，郷土料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
3回 外川	日本の食文化 行事食と儀礼食	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
4回 外川	日本の食文化 日本料理様式の形成	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
5回 外川	日本の食文化 日本料理，食器・食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
6回 外川	日本の食文化 菓子	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
7回 外川	食事様式の比較	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
8回 外川	世界の食文化 フランス料理様式の形成	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
9回 外川	世界の食文化 フランス料理，食器・食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
10回 外川	世界の食文化 フランスの食材・料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
11回 外川	世界の食文化 中国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
12回 外川	世界の食文化 韓国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
13回 外川	食の禁忌と忌避	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
14回 外川	食の禁忌と忌避	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
15回 外川	授業内試験及びまとめ	事前学習：これまでの学習を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

食物学（調理実習・実験）

外川 恵

服飾表現学科 3年 前期 選択 （1単位 実験実習）

■授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、実習・実験を通して食品の特徴を活かす調理法を学び、調理技術を習得する。基本的な調理操作と献立作成等の知識を複合的に活用し、日常食の調理を習得する。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

■到達目標（学修成果）

1. 食品の調理性および調理手法の特徴を理解し、基礎的な調理手法、包丁操作ができる。
2. 栄養、嗜好等に配慮した日常食を理解し、調理を行える。
3. 教員免許取得者においては、安全で科学的な調理実習が運営できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各実習のはじめに前回ワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版社

■参考文献

随時紹介する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスクを持参すること。実践栄養学を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	オリエンテーション、実習室における衛生管理、食品の計量	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	だしの取り方、米の調理（炊飯）、切り方の基礎	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	食材の基礎調理と献立：卵類 日本茶の淹れ方	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	食材の基礎調理と献立：その他の野菜類（淡色野菜）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	食材の基礎調理と献立：緑黄色野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	食材の基礎調理と献立：いも類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	食材の基礎調理と献立：豆類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	食材の基礎調理と献立：ゲル化剤	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	食材の基礎調理と献立：乳類・小麦粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	食材の基礎調理と献立：小麦粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	食材の基礎調理と献立：魚類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	食材の基礎調理と献立：肉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	食材の基礎調理と献立：ひき肉	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	食材の基礎調理と献立：魚類、肉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

食物学（調理実習・実験）

外川 恵

服飾表現学科 3年 後期 選択 （1単位 実験実習）

■授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、実習・実験を通して加熱操作別の調理特性を学ぶ。食物学（調理学実習・実験）で学んだ調理技術を向上させ、対象者や目的に合わせた日常食、行事食の調理に応用させる。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

■到達目標（学修成果）

1. 調理手法の特徴を理解し、応用した調理手法および包丁操作ができる。
2. 栄養、嗜好、季節等に配慮し、対象者に合わせた日常食および行事食の調理を行える。
3. 教員免許取得者においては、安全で科学的かつ日常生活に応用可能な調理実習が運営できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各実習のはじめに前回ワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(フレッシュン含む)	30%
期末試験・課題(フレッシュン含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版部

■参考文献

随時紹介する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスクを持参すること。
実践栄養学、食物学（調理学実習・実験）を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。
その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	調理法からのアプローチ：汁、減塩の工夫	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	応用調理：和食献立	事前学習：自身の朝食をふりかえる 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	調理法からのアプローチ：煮る	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	調理法からのアプローチ：炒める	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	調理法からのアプローチ：焼く	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	調理法からのアプローチ：揚げる	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	調理法からのアプローチ：魚をおろす	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	応用調理：和風献立	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	調理法からのアプローチ：蒸す	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	応用調理：弁当	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	応用調理：行事食（クリスマス料理）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	応用調理：行事食（正月料理）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	応用調理：洋風料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	応用調理：中国料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

言語と服飾文化

北澤 茉奈、安部 智子

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

服飾文化に関する題材を英語で読むことにより、その知識を深めるとともに、英文で書かれた内容を素早く正確に理解するための練習をします。1940～1950年代のパリ・オートクチュール（Christian DiorとCristobal Balenciaga）についてのアカデミックな英語（解説文）を扱い、語学としての英語と服飾文化の両方にフォーカスします。学生それぞれの英文解釈に対するフィードバックおよび解説、服飾に関する講義の形式で進めます。英文解釈は授業内に提出し、プロジェクターに投影する形で皆に共有します。授業毎に復習テストを実施し、前回内容と関連させながら新たな範囲を読み解いていきます。

■到達目標（学修成果）

1．英語で書かれた文章の構造を理解し、求められた情報を素早く見つけ正確に理解することができるようになる、2．辞書や検索の結果から得た情報を自分の言葉でまとめ発信することができるようになる、3．パリ・オートクチュールについての知識を増やす、の3点です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての言語と服飾文化は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

復習テスト、英文解釈は授業内で採点・解説を行います。まとめのテストは採点し返却を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

Claire Wilcox編 The Golden Age of Couture: Paris and London 1947-57 (V&A Publications)より
第6章 Dior and Balenciaga: A Different Approach to the Body (pp. 138-154)

■参考文献

必要があれば指示します。

■オフィスアワー・研究室

連絡研究室：英語研究室（研究棟3階6034）・服飾造形研究室（研究棟3階6033）

オフィスアワー：第1回目の授業で提示します。

■備考

テキストは、大型本のためコピーを用意します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。復習：授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	ディオールとバレンシアガについて	予習：テキストに目を通す。復習：復習テストに備える。	45分
3回 各自	ディオールの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
4回 各自	バレンシアガの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
5回 各自	ディオールの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
6回 各自	バレンシアガの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
7回 各自	ディオールとバレンシアガのデザイン・スピリット	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
8回 各自	ディオールとバレンシアガの制作プロセス	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
9回 各自	バレンシアガのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
10回 各自	ディオールのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
11回 各自	バレンシアガのフォルム	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
12回 各自	ディオールとバレンシアガの代表的ライン	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
13回 各自	ディオールとバレンシアガのディテール	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
14回 各自	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る。	60分
15回 各自	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る。	45分

日本語表現

伊藤 高広

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじまって、短い文章を書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

■到達目標（学修成果）

正確な日本語で短文を書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回ごとに課題を添削します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

■参考文献

必要に応じて指示する

■オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	授業の方針・概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	質問に対して適切に回答する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	質問に対して適切に回答する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	情報を整理して説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	情報を整理して説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	状況や理由を説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	状況や理由を説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	文章の構成を考える	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	文章の構成を考える	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	小まとめ 確認と短い作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
11回 伊藤	報告する文章を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
12回 伊藤	報告する文章を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	前期のまとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語表現

伊藤 高広

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日本語表現 に引き続き、本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじまって、レポートレベルの文章が書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

■到達目標（学修成果）

正確な日本語でレポートを書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回ごとに課題を添削します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

■参考文献

必要に応じて指示する

■オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	自己紹介の文章を書く	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	自己紹介の文章を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	引用の仕方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	引用の仕方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	引用の仕方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
11回 伊藤	小まとめと確認	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
12回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	まとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語

銭 陶緯

服飾表現学科 3年 前期 選択必修 (4単位 講義)

■授業の方針・概要

大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Iに関しては、専門用語を学び、初級文法の復習定着及びその運用能力の向上を目指す。また、読解と対話のタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての理解力と思考力を養成する。

■到達目標（学修成果）

専門用語を学び、講義や発表を理解する力を高める。習得した文法事項を使い、自分の意見をまとめ、発表やディスカッションができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

通常の授業内で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『JLPT文法N3ポイント＆プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク
『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。スポーツクラブに入会する。	【予習】シラバスを読む。 【復習】授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達をお花見に誘う。 【対話】習い事は役に立つ？	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達とお花見を計画する。 【対話】習い事は役に立つ？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電車が遅れる。 【対話】習い事は役に立つ？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは雑誌の占いだ。 【対話】漢字・平仮名・片仮名、どれで書く？	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。留学した理由を話す。 【対話】漢字・平仮名・片仮名、どれで書く？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。インターネットでの買い物 【対話】漢字・平仮名・片仮名、どれで書く？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カメラを修理に出します。 【対話】昔話の世界を知ろう	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カジュアルな表現と敬語 【対話】昔話の世界を知ろう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達に授業のお願いをする。 【対話】昔話の世界を知ろう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達を相撲に誘う。 【対話】旅の計画を立ててみよう	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。レトルトカレーを温める。 【対話】旅の計画を立ててみよう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。職場で休みの希望を言う。 【期末試験の説明・復習】	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。台風の準備をする。 【対話】旅の計画を立ててみよう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

日本語

銭 陶緯

服飾表現学科 3年 後期 選択必修（ 4単位 講義 ）

■授業の方針・概要

日本語Iに引き続き、大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心にした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語IIに関しては、専門用語をさらに学び、中級文法の定着及びその運用能力の向上を目指す。また、対話、発表などのタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての思考力と表現力を養成する。

■到達目標（学修成果）

高度な専門用語を学び、講義や発表を理解する力をさらに高める。習得した文法事項を使いこなし、表現力とともにレポートや論文を書くための基礎的な日本語力を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

通常の授業内で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『JLPT文法N3ポイント＆プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク
『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。これは化粧品品の宣伝だ。	【予習】シラバスを読む。 【復習】授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電気屋でパソコンを買う 【対話】違いについて考えてみよう。	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お勧めの観光地を聞く 【対話】違いについて考えてみよう。	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。接続詞と副詞 【対話】違いについて考えてみよう。	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。法律相談所に電話をかける。 【対話】音楽にはどんな力がある？	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは映画の広告だ。 【対話】音楽にはどんな力がある？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。言葉の意味を調べる。 【対話】音楽にはどんな力がある？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。先生に年賀状を送る。 【対話】日本から世界へ	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。車の事故があったそうだ。 【対話】日本から世界へ	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。新聞社に私の意見を送る。 【対話】日本から世界へ	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。スピーチをする。 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。部屋を借りる。 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。健康診断を受ける。 【期末試験の説明・復習】	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お世話になった人にお礼を 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

博物館展示論

横山 昭一

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

展示は博物館への導入であると同時に、博物館の顔ともいえ、その良し悪しが集客力に大きくかかわってきます。今まで来館者として見ていた「博物館展示」を、学芸員の立場で創造していく皆さんに、長年地域博物館に学芸員として携わってきた実務経験を活かして、博物館展示の意義や歴史、実際の事例等を総合的に講義します。一人でも多くの観覧者を集客し、少しでも長く館に滞留して、興味や好奇心を起こさせる展示の開発や運営ができる学芸員の育成を目指します。

■到達目標(学修成果)

博物館における展示の歴史、展示の諸形態から教育活動、展示メディアに関する理論や方法に関する知識・技術が習得できる。ユニバーサルデザインの考え方や展示評価を学び、照明理論やディスプレイ等の今日的課題を主体的に考えることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。博物館学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。学芸員として必要な展示に関する理論や実践方法を学びながら、社会人としての幅広く深い教養と総合的な判断力の向上をめざします。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の冒頭に前回の振り返り、終わりに感想や質問内容をメモで提出。各小テスト・レポート提出後の講義で内容解説を行なう。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし 課題内容に即した資料プリントを配布します。

■参考文献

加藤有次他編 「新編博物館学講座9博物館展示論」雄山閣
青木豊著 「博物館展示の研究」雄山閣

■オフィスアワー・研究室

講義日の講義終了後、第三校舎講師控室(第3校舎1階)、もしくは教務課(本校舎1階)を通じて連絡をしてください。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 横山	博物館展示論のガイダンス・展示に関するアンケート実施。「あなたが考える良い博物館像」を各自発表。	予習:シラバスを読む。機会あるごとに多くの博物館施設の展示を見ておく。	40分
2回 横山	展示の原則・理念 展示の基本要素、展示の原則を広義の展示を交えて学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
3回 横山	展示の種類 博物館展示の命題や要件、博物館展示の種類を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
4回 横山	展示と展示論の歴史 博物館展示論の研究の歴史を学ぶ。小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
5回 横山	常設展示と企画展示 館種や設置目的によって異なる展示の特徴を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
6回 横山	博物館展示の実際 施設見学や学芸員との質疑を通して館の課題を知り評価を行う。・見学レポート作成	予習:事前案内や配付資料を読み返す。 見学レポートをまとめる。	70分
7回 横山	展示業務の実際—構想から施工まで— 計画設計、実施設計の流れと各段階での業務を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
8回 横山	展示室の構成 環境・空調・動線・照明・音響・セキュリティ動線計画や照明を中心に学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
9回 横山	展示室の構成 サイン・展示ケース・演示具 展示ケースの役割・種類、メンテナンスを学ぶ。小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
10回 横山	展示の技法 映像・インタラクティブ展示、ハンズオン展示 映像展示の特徴やハンズオン展示の実際を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
11回 横山	展示の技法 展示グラフィック・解説文・展示図録 展示パネルの種類や解説文、図録作成のプロセスを学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
12回 横山	展示の技法 ワークシート・ワークブック・教育プログラム 教育プログラムの事例や利活用のあり方を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
13回 横山	展示の技法 ユニバーサルデザイン・展示評価 ユニバーサルデザインや展示評価について学ぶ。小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
14回 横山	博物館展示の情報化と広報活動 展示解説の方法、他言語表記、広報活動のあり方を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
15回 横山	まとめ 授業や提出物のフィードバックを行い、これからの展示について討議する。	復習:授業を振り返り、提出物のフィードバックを行なう。	30分

博物館教育論

浪川 幹夫

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館における教育は、博物館の総体であると考えなければならない。したがって、博物館の基本機能は、すべて博物館教育を目的としている。つまり、収集・保存・研究は展示と教育を目的としているので、博物館教育論は博物館の最終機能となる。

展示は博物館教育の基本であるが、展示論は別途科目として存在するため、ここでは展示及び展示関連事業を基本とした教育諸活動に焦点をあてて理解を求める。

■到達目標（学修成果）

- ・博物館教育活動の歴史と概念の理解
- ・博物館における教育諸活動の具体的実践

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

前期 月曜日（14：00～14：30）

■備考

成績表は、課題提出による。課題は、授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出するものとする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 浪川	ガイダンス 自己紹介 鎌倉の博物館紹介 授業の進め方	予習：シラバス（学芸員課程部分）をよく確認する	30分
2回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育（講義・前半）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
3回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育（講義・後半）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
4回 浪川	博物館教育の概念と歴史・教育論研究史（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
5回 浪川	博物館教育の具体例 ミュージアムワークシート・ミュージアムワークショップ（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
6回 浪川	博物館教育の具体例 講演会・講座・出前授業・各種ワークショップ（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
7回 浪川	杉野学園衣袋博物館を見学（博物館教育論の視点から）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
8回 浪川	展示資料の取り扱いと、展示手法について（博物館教育論の観点から・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
9回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法（実技。絵巻物読解）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
10回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法（実技。写真撮影についてと図録作成・概説・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
11回 浪川	ミュージアムワークシートの作成のための概念説明及び実技（講義と、対象博物館選定・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り（ワークシート作成準備）	30分
12回 浪川	ミュージアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成	30分
13回 浪川	ミュージアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成	30分
14回 浪川	ミュージアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成および配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
15回 浪川	まとめ（成果物の提出と評価）	復習：14回全体の振り返り	40分

博物館情報・メディア論

丸山 憲子

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館を「情報」「メディア」という語をキーワードに学んでいく。「情報」「メディア」という用語の理解の上、実際の今日の博物館での資料の情報化他「情報」の諸相、「情報」の伝達手段としての「メディア」の実際について学習していく。

■到達目標（学修成果）

博物館における「情報」「メディア」についての基本的知識の習得。
博物館活動における「情報」の本質について考察できることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示します。

■参考文献

随時、紹介します。
課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

■備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。
学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。
普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション（博物館情報・メディア論の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	データベース化、デジタル・アーカイブについて学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	博物館における情報管理と情報発信について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館における権利関係について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	技術革新と博物館活動について学習する。資料の情報化・情報管理・情報発信についてのまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	広報と情報について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	博物館における視聴覚メディアの歴史を学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	今日の博物館展示における視聴覚メディアについて学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
11回 丸山	まとめ（小テスト）及びプレゼンテーションのための説明。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
12回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
13回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	30分
14回 丸山	博物館における映像展示の特性について学習する。	復習：配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習：全体の振り返り	60分